



市民参加型まちづくり 1%システム

平成 29 年度採択事業 活動事例集



はじめに・・・

弘前市では、平成 27 年 4 月に弘前市のまちづくりの基本的なルールを定めた「協働によるまちづくり基本条例」を施行し、市民等・議会・執行機関の 3 者の協働によって、「市民の幸せな暮らし」の実現に向けて取り組んでいます。

「市民参加型まちづくり 1%システム」は個人市民税の 1%相当額を財源に、市民自らが実践するまちづくり、地域づくり活動に係る経費の一部を支援する、公募型の補助金制度です。

町会や NPO、学生やボランティア団体をはじめとする市民活動団体などが、自らの地域を考え、自ら実践することにより、地域課題の解決や地域の活性化につながる活動を支援し、「市民力」による魅力あるまちづくりの推進を図ります。

この事例集では、平成 29 年度に実施された 68 事業を紹介しています。実施された事業は、ジャンルはさまざまですが、どの事業も市民のみなさまや地域のことを想って実施されています。

他の団体さんの情報収集として活用したり、実際に気になった事業があった場合は参加してみたり、自分たちの事業実施の参考にさせていただければと思います。

情報公開を承諾していただいた団体さんの情報や連絡先を公開しています。

「自分たちの事業の参考にしたい。」「事業に参加してみたい。」などがありましたら、市ホームページから連絡先をご確認ください。

URL : <http://www.city.hirosaki.aomori.jp/jouhou/seido/ichipercen/dantaijouhou.html>



■ 目 次 ■

分野	事業名	団体名	頁
地域コミュニティ による地域活性化	小沢ほたる観賞会	小沢小学校父母と教師の会	1
	常盤野町会コミュニティー醸成推進事業	常盤野町会	1
	大仏公園あじさいまつり	石川町会	2
	いわなのつかみ取り体験	特定非営利活動法人 藤代地域ふれあいの会	2
	～和徳の歴史の探求と伝統ある津軽の歴史の魅力発信事業～ 題「けの汁発祥の地 和徳城」和徳城主 小山内讃岐の守没後 446 年祭	和徳歴史探偵団	3
	十腰内地区お山参詣実施事業	十腰内お山の会	3
	農園が社交場へ!!	北地区コミュニティ会議	4
	向外瀬町会 藩政時代へ旅する（パートⅡ）開村誕生年祭	向外瀬町会	4
	十面沢お山の会（お山参詣）	十面沢お山の会	5
	弘前城の何でも歴史名人になろう。	南大町町会	5
	狼森町会史発刊	狼森町会	6
	国際交流事業（1）国際交流 夏祭り （2）国際交流 餅つきフェスティバル	桔梗野町会	6
	北地区コミュニティ会議 20年の歩み （辿った足跡から未来を探る）	北地区コミュニティ会議	7
	鬼楯地域「歴史と伝説の里づくり事業」	歴史と伝説の里「鬼沢の会」	7
	全員集合!防災運動会	5-Between	8
	地域防災・防犯・青 少年健全育成	青少年健全育成・地域づくり・地域世代間交流事業「第4回 津軽の伝統文化と昔の遊びに触れてみよう」	時敏地区青少年育成委員会
防災・地域づくり・地域世代間交流事業「第1回 西部仲町 自主防災会 避難訓練事業」		西部仲町自主防災会	9
いざ! 我が町民（市民）を守ろう隊		栄町町会	10
大沢サマーフェスティバル		大沢サマーフェスティバル実行委員会	10
防災・減災・地域づくり事業「第1回 自由ヶ丘町会 自主防災会 避難訓練事業」		自由ヶ丘町会 自主防災会	11
地域課題解決	乳井区域内放棄地の環境整備と美化活動	乳井町おこし協力会	12
	豊田小学校通学路排雪事業	豊田小学校父母と教師の会	12

福祉・保健	市民健康増進事業「第6回 津軽岩木スカイラインを歩いてみよう会」	弘前歩こう会	13
	過疎地域スポーツ推進事業「スポーツゲンキッズ教室」	特定非営利活動法人 スポネット弘前	13
	弘前暮らしの保健室	弘前暮らしの保健室	14
	イキイキ健康クラブスマイル	イキイキ健康クラブスマイル	14
	ヘルシーエイジング	ヘルシーエイジング	15
	弘前市民の森で元気になろう	弘前市民の森の会	15
	親子の触れ合い「親子じゃれつき遊び」と子どもの生活習慣・体力・社会性をはぐくむ「コーディネートを取り入れた運動遊び」	子育て支援サークル ママズクラブ	16
	岩木山 YOGA フェスティバル	岩木山 YOGA 実行委員会	16
	“わ”と“な”の生き活きサークル2	“わ”と“な”の生き活きサークル 実行委員会	17
	CAP を子ども達に届けよう 副題「暴力から自分を守る力を子どもに!」	あおり CAP の会 中弘南黒地区	17
	子育てが楽しくなる パパママ楽習会	子育てパパママ楽習会 運営委員会	18
	「アレッズわくわくパーク」事業	HIROSAKI 市民球団プロジェクト 弘前アレッズ	18
	すこやかセミナーの運営	弘前芸術鑑賞会	19
	弘前市の将来を考えるフォーラム テーマ 人口減少時代の地域における権利擁護のしくみ	一般社団法人権利擁護あい森ねっと	19
	第4回弘前城リレーマラソン冬の陣 男の介護教室	特定非営利活動法人 スポネット弘前 特定非営利活動法人 津軽広域救急支援機構	20 20
	環境	ラベンダーロード再生事業	相馬地区小・中学校 PTA 連絡協議会
岩木山エコプロジェクト		岩木山観光協会	21
ゼロ・ウェイストの町を学ぶ講演会		特定非営利活動法人 もったいないつがるの会	22
農業	WA のりんご～もっとりんごを身近に～	A プロジェクト	23
ひとつづくり	中心6商店街 接客英会話 無料セミナー・観光 ボランティア 事業	弘前市英会話サークル Globish	24
	「簡単な韓国語で紹介する弘前の観光と接遇」講座と、韓国文化に触れる事業	弘前韓国語勉強会	24
文化・芸術的活動、 伝統芸能による地 域活性化	津軽カタリスト 太宰治ドラマリーディング 定期公演 事業	津軽カタリスト	25
	文化振興事業「第1回 大森勝山遺跡と世界遺産登録を学ぶ会」	弘前縄文の会	25

文化・芸術的活動、 伝統芸能による地 域活性化	小学校体育支援事業 「運動大好きプロジェクト」	特定非営利活動法人 スポネット弘前	26
	弘前さくらコンサート Vol.3	Rainbow Muse Hirosaki	26
	第6回こぎんフェス	こぎんフェス実行委員会	27
	第1回公演 ミュージカル 「THE SOUND OF MUSIC」	弘前こども・おとなミュージカルクラブ	27
	「第3回 日本・台湾友好音楽祭」	弘前市民俗芸能保存連合会	28
	リーディングライブ「朧の城物語」	弘前芸術鑑賞会	28
	ワクワク・どきどき?!ひろレクパーク「気軽に 体験!楽しい時間・楽しく健康。笑顔の自 分を探しに行こう」・楽しく弘前探検「みん なのウォークラリー大会」・レッツひろレクデー 「認知症予防のレクリエーション体験」	特定非営利活動法人 ひろさきレクリエーション協会	29
	イラストでひろさきの街並み再発見!	津軽ひろさきマーチング委員会	29
	おしごと体験広場キッズハローワーク	おしごと体験広場キッズハローワーク 実行委員会	30
	第2回全日本横笛コンクール	津軽笛地域づくり実行委員会	30
	「ひろさき美術館2」	弘前アートプロジェクト実行委員会	31
	コミュニティシネマ事業「harappa 映画館」	NPO 法人 harappa	31
	ギネス記録も持つ!!津軽の笛が大集合! 第5回 津軽笛博覧会	津軽笛地域づくり実行委員会	32
	焦点—弘前とかけて落語ととく、その団体 とは—	弘前男女らくご振興協会	32
	ういっちたいむ!! 4	ういっちたいむ!!実行委員会	33
	その他	HIROSAKI JAZZ STREET 2017	弘前駅前遊歩道賑わい祭実行委員会
「あのね、知ってる?ここにもフランス」プロ ジェクト		弘前グローバル・アクション	34
「第4回弘前城 Q&R」開催事業		弘前城 Q&R 実行委員会	35
DOG FES IWAKI 2017		DOG FES IWAKI 実行委員会	35
青森サミット 2017		ひろさきナラティブ.net	36
SL48640号機の保存活動及び SL 鉄道教室		特定非営利活動法人 五能線活性化倶楽部	36
雪でドドド～五感で楽しむ祭りだじゃ～		ドドド実行委員会	37

この事例集は、平成 29 年度に採択・実施された事業を掲載しています。

地域資源の有効活用、地域交流、子どもの健全育成を目的として、ほたるの観賞会を行いました。観賞会当日はこれまでの経過報告やホタルの生態の説明、小沢小学校合唱部によるコーラスの披露をしていただきました。学区内の新聞折り込みチラシで広く周知したこともあって、準備段階から地域内の組織や会社との協力体制ができ、また、見事にほたるも飛び、参加者に感動を与えることができました。

- 事業実施場所：小沢ほたる池ほか
- 事業実施日：平成 29 年 7 月 8 日
- 参加者数：280 人
- 補助金確定額：124,000 円（事業費：138,415 円）



地域住民のコミュニティ醸成のため、全3回の地域交流会を開催しました。6月は運動会地域交流会、消防団を中心とした防災訓練と毎戸防災対策点検、8月は地域交流会「夕涼み会」、11月は地域交流会「文化祭」を行いました。交流事業では子どもからお年寄りまで楽しい交流ができ、防災対策では消防団員や役員が毎戸をまわり家具転倒防止用金具を取り付けたことで、年配者世帯に安心してもらうことができました。

- 事業実施場所：常盤野町会地区内
- 事業実施期間：平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 2 月 23 日
- 参加者数：230 人
- 補助金確定額：289,000 円（事業費 339,617 円）



町会内にある大仏公園と、公園内に咲く紫陽花を広く市民に知ってもらうため、「あじさいまつり」を開催しました。まつり期間中に公園内の各所にクイズポイントを設置したり、川柳を投函してもらい、公園内に展示したほか、特別イベント日には、紙ひこうき大会やあじさい剪定勉強会、祭りを盛り上げるためのジャズ演奏・子どもたちによるパフォーマンスなどを行ったことで、より多くの市民に大仏公園に足を運んでもらうきっかけとなりました。

- 事業実施場所：石川大仏公園、弘南鉄道大鰐線
- 事業実施期間：平成 29 年 7 月 1 日～7 月 31 日
- 参加者数：5,870 人
- 補助金確定額：483,000 円（事業費：586,825 円）



いわなのつかみ取り体験

特定非営利活動法人 藤代地域ふれあいの会

子どもの健全育成や多世代交流による地域活性化を目的として、いわなのつかみ取り体験を行いました。地域住民の協力を得ながら作成した生けすに放流したいわなの手づかみ体験を、元気に水しぶきをあげて子どもたちに楽しんでもらうことができました。家族連れでの参加が多く、また、地域のおじいちゃんおばあちゃんが子どもたちにいわなのつかみ方を教える姿も見られ、多世代交流の良い機会となりました。

- 事業実施場所：藤代公民館
- 事業実施日：平成 29 年 6 月 18 日
- 参加者数：250 人
- 補助金確定額：228,000 円（事業費：354,226 円）



和徳町の地域には、むかし和徳城があり、その城主である小山内讃岐守が大浦為信によって落城される前に兵士たちが食べたとされる「けの汁」の発祥の地とされていることを、次代を担う子どもたちに伝えながら、和徳の活性化につなげるため、郷土料理でもある「けの汁」コンテストや、けの汁のふるまいを行いました。また、和徳の歴史を掲載した記念誌を再編集し、地域の歴史を学ぶための資料として配布しました。けの汁の振る舞いも好評で、和徳の歴史と文化を発信することができました。

- 事業実施場所：宮川交流センター、和徳稻荷神社境内
- 事業実施期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日
- 参加予定者数：1,500人
- 補助金確定額：500,000円（事業費：853,282円）



十腰内地区お山参詣実施事業

十腰内お山の会

市内でも有数のりんご生産地の十腰内地区で、五穀豊穡を祈願する伝統行事として行われてきたお山参詣を、引き続き実施しました。ご幣づくりや旗づくりといった準備段階から地区の若い世代から高齢者まで参加してもらうことで、地域住民の結束・絆を深めることにも繋がりました。また、新たな試みとして、裾野小学校で十面沢お山の会と協力してお山参詣の旗くぐりや登山囃子を披露し、囃子や本番の疑似体験も行うことで、地域の子どもたちにお山参詣の伝統を伝えることができました。

- 事業実施場所：十腰内神社、岩木山神社
- 事業実施期間：平成29年7月15日～9月19日
- 参加者数：120人
- 補助金確定額：468,000円（事業費：1,020,061円）



地域住民の手で整備した交流農園を活用し、地域の連帯感を高めるために子どもから高齢者までが野菜づくりを行いました。収穫した野菜を利用して災害時を想定した炊き出し訓練や収穫祭、冬季には子どもたちの遊び場として活用しました。また、地域の交流の場としてより活用してもらうために、雨や日差しを避ける休憩所を設置し、より交流の場として活用しやすくすることができました。

- 事業実施場所：向外瀬町会内 農園
- 事業実施期間：平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 2 月 8 日
- 参加者数：552 人
- 補助金確定額：174,000 円（事業費：202,659 円）

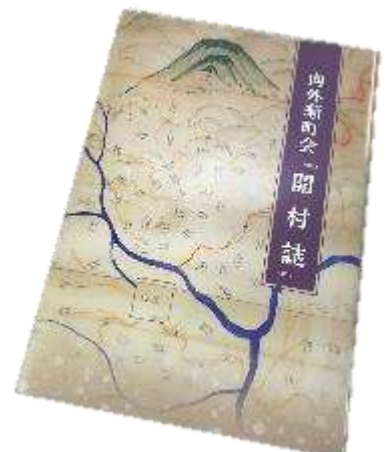


向外瀬町会 藩政時代へ旅する（パートⅡ）開村誕生年祭

向外瀬町会

町会行事への参加者が年々減少傾向にあることから、地域住民が同じ方向を向いて同じことに挑戦するため、町会内に保存されている古文書や町内お宝の調査、絵馬の展示などを実施し、その成果を取りまとめて「開村誌」を作製しました。地域の歴史を辿り、成り立ちや先人の想いを知ることで、地域に対する愛着が高まり、地域の活性化のきっかけづくりとなりました。

- 事業実施場所：向外瀬町会
- 事業実施期間：平成 29 年 7 月 16 日～平成 30 年 1 月 21 日
- 参加者数：361 人
- 補助金確定額：500,000 円（事業費：727,666 円）



十面沢地区で、五穀豊穡を祈願する伝統行事として行われてきたお山参詣を引き続き実施しました。準備段階からお山参詣への参加を地域に呼び掛け、次世代にこの行事を継承していくためにも、子どもたちの囃子練習を企画して、町内の活性化に取り組みました。また、新たな試みとして、裾野小学校で十腰内お山の会と協力してお山参詣の旗くぐりや登山囃子を披露し、囃子や本番の疑似体験も行うことで、地域の子どもたちにお山参詣の伝統を伝えることができました。

- 事業実施場所：十面沢町内、岩木山神社
- 事業実施期間：平成 29 年 8 月 6 日～11 月 20 日
- 参加者数：80 人
- 補助金確定額：254,000 円（事業費：636,931 円）



弘前城の何でも歴史名人になろう。

南大町町会

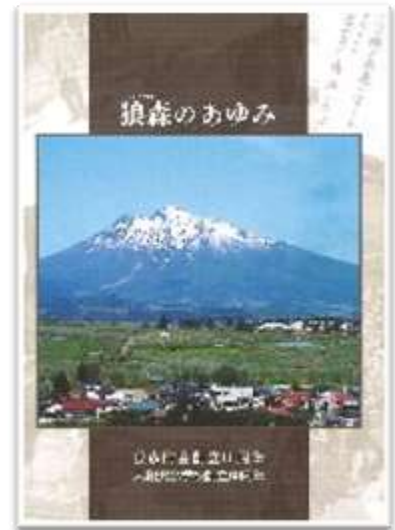
弘前市民として、弘前城に対して改めて興味・関心を持ってもらうために、町会住民を対象とした弘前城ミステリーツアーを行いました。ガイドのかたのお話を聞きながら、三の丸東門から出発し各門扉や馬場跡、天守台の石垣などをまわり、参加者が初めて知るような弘前城についてたくさんの知識を得ることができ、自分達が住む弘前への関心を強めてもらうきっかけを作ることができました。

- 事業実施場所：弘前公園
- 事業実施日：平成 29 年 10 月 7 日
- 参加予定者数：12 人
- 補助金確定額：41,000 円（事業費：46,458 円）



狼森町会には、農村医療が始まった場所というほか、さまざまな貴重な歴史があり、その歴史を後世に伝えていくため、歴史や昔の資料をまとめた冊子を作製しました。作製後は各世帯や公共施設に配布し、町会全世帯を対象に発刊報告会も行いました。新たに発足した子ども会で行った勉強会では、役員・子どもたちだけでなく父兄も一緒に歴史を楽しく学ぶことができ、町会民の一体化や地域活性にもつながりました。

- 事業実施場所：狼森町会区域
- 事業実施期間：平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 1 月 7 日
- 参加者数：162 人
- 補助金確定額：500,000 円（事業費：620,635 円）



国際交流事業（1）国際交流 夏祭り（2）国際交流 餅つきフェスティバル

町会内にある弘前大学国際交流会館に居住する留学生・弘前大学関係者と町会住民が交流を図るため、国際交流夏祭りと餅つきフェスティバルを開催しました。夏祭りでは、盆踊りや留学生のスピーチ、餅つきフェスティバルでは留学生の餅つき体験、留学生による合唱・民族舞踊といった、それぞれの文化を体験しあうことで、お互いの理解と親睦を深めることができ、楽しく充実した事業となりました。

- 事業実施場所：（1）弘前大学国際交流会館（2）桔梗野会館
- 事業実施日：（1）平成 29 年 8 月 19 日（2）平成 29 年 12 月 16 日
- 参加者数：（1）300 人超（2）120 人
- 補助金確定額：130,000 円（事業費：414,427 円）



青少年の健全育成や地域住民の生涯学習、課題解決等を目的に活動してきた20年間の振り返りと検証をし、今後も地域に根差した活動を継続・発展させていくために冊子を作製し各町会へ配布しました。また北地区内の毎戸には要約版を配布しました。活動を総括し、その情報を共有するため二十周年記念式典を行ったことで、住民が地域活動に理解を深めることや、今後の地域活動への参加や発展のきっかけとなりました。

- 事業実施場所：弘前市立北小学校
- 事業実施期間：平成29年10月1日～平成30年3月20日
- 参加者数：104人
- 補助金確定額：234,000円（事業費：404,220円）



鬼楯地域「歴史と伝説の里づくり事業」

歴史と伝説の里「鬼沢の会」

鬼沢地域に伝わる「鬼伝説」や、義民・藤田民次郎の生涯を紹介し、関連史跡を散策したり、農業体験や郷土料理を試食するツアーを開催しました。地域の行事への問い合わせや観光客が増えたことから、地域に対する注目度の高まりを感じました。また、藤田民次郎についてのスライド上映の語り手を育成する研修会を開催し、地域の歴史や地域資源を後世に伝える人材の育成にも努めました。

- 事業実施場所：鬼沢研修会館、鬼楯楯木土地改良地区事務所、鬼沢周辺地域
- 事業実施期間：平成29年10月1日～平成30年3月28日
- 参加者数：120人
- 補助金確定額：246,000円（事業費：327,457円）



地域コミュニティ活性化と自主防災や自助、共助の必要性を感じてもらうため、楽しみながら学ぶことのできる防災運動会を開催しました。災害時に必要なバケツを活用した消火や担架作り、人命救助などを競技として行い、頭で理解するだけでなく実際に動くことでより理解を深められました。日頃から防災意識を高めてもらうきっかけづくりの場とすることができました。

- 事業実施場所：弘前医療福祉大学短期大学部体育館、USAR 棟
- 事業実施日：平成 29 年 11 月 18 日
- 参加者数：97 人
- 補助金確定額：130,000 円（事業費：144,539 円）



地域の子どもたちが日本の伝統文化や昔の遊びと親しみ、地域の大人たちとふれあう事業を開催したほか、時敏小5年生を対象に、時敏地区の歴史と文化遺産を学ぶ講座を開催しました。

伝統文化とふれあう事業では、地区の民生委員や町会長、PTAなどの関係者が一体となって取り組み、子どもたちに様々な伝統文化や遊びにふれあってもらうことができました。歴史講座では、子どもたちから学校周辺の歴史を楽しく学ぶことができたという感想を多くもらうことができました。

- 事業実施場所：時敏小学校ほか
- 事業実施期間：平成29年4月1日～11月15日
- 参加者数：318人
- 補助金確定額：369,000円（事業費：420,457円）



災害時における課題を明確にし、今後の活動に役立てることを目的として、避難訓練を行いました。当日は、消防団や日赤関係者、交通指導隊、看護師等の指示を仰ぎながら、避難方法・避難誘導・避難者への対応・炊き出し方法・消火器の取扱い方を検証しました。訓練ごとに、所要時間や改善点などを確認することができたほか、多くの住民の参加もあり、住民の防災に対する意識を高めることができました。

- 事業実施場所：仲町緑地公園
- 事業実施日：平成29年8月14日
- 参加者数：130人
- 補助金確定額：333,000円（事業費：370,698円）



災害時に備えて設立した自主防災会を中心に、各担当者の災害時の役割や、町民の安全な避難誘導方法などを訓練しました。災害が発生した際の情報伝達や、要支援者・高齢者・負傷者の救援、炊き出し、消火・救命救急訓練などに、役員だけでなく青年部や各班の世話役が参加し、住民の防災に対する意識を高めることができました。

- 事業実施場所：栄町町民会館、緑地公園ほか
- 事業実施日：平成 29 年 10 月 1 日
- 参加者数：58 人
- 補助金確定額：154,000 円（事業費：172,018 円）

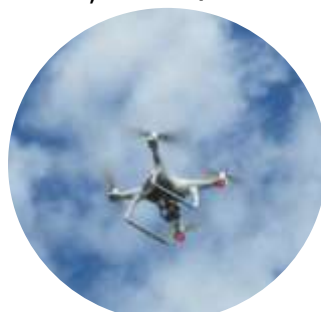


大沢サマーフェスティバル

大沢サマーフェスティバル実行委員会

地域住民が一堂に会し、交流を深めることによる地域活性化と、防災意識向上を目的に防災訓練と夏祭りを併せて開催しました。防災訓練では外傷手当や骨折に対する固定要領を習得したほか、ドローンによる情報収集で土砂災害危険区域を確認したことにより、住民の減災意識が高まりました。また、祭りではメインイベントのほかにフォークソングバンドのボランティア出演もあったことで、集客効果が得られ、地域交流の活性化が図られました。

- 事業実施場所：大沢町民会館
- 事業実施日：平成 29 年 8 月 19 日
- 参加者数：480 人
- 補助金確定額：341,000 円（事業費：385,000 円）



これまで町民を対象とした「避難訓練」や「炊き出し訓練」などを一度も実施したことがないことから、自主防災会を中心とした町会住民で、避難方法・避難誘導・避難者への対応や炊き出しの仕方など訓練を行いました。支援が必要なかたがいることも改めて確認でき、災害弱者や孤立者を可能な限り町会内で生じさせないため、要支援者の名簿を作成するなど、災害対応に努める必要があるという認識を深めました。

- 事業実施場所：自由ヶ丘公園
- 事業実施日：平成 29 年 10 月 29 日
- 参加予定者数：58 人
- 補助金確定額：385,000 円（事業費：428,463 円）



乳井町会内で放棄され崩壊寸前だった史跡である茶臼館の沿道改修や、ホタルが集まるため池の清掃・草刈りなどの整備を行いました。地域住民の参加を図りながら、茶臼館からの絶景を見る会やホタルの観察会、歴史勉強会を実施することで、地域の良さを再認識してもらい、愛着を高めていくことにつながりました。また、歴史の径の舗装や路肩補強・整地を行い、歩くことのできるコースの整備を実現しました。

- 事業実施場所：乳井町会内
- 事業実施期間：平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 1 月 10 日
- 参加者数：176 人
- 補助金確定額：370,000 円（事業費：413,425 円）



豊田小学校通学路排雪事業

豊田小学校父母と教師の会

行政の委託業者による除排雪が追いつかない状況の中、雪ですり鉢状になった通学路で児童が怪我をする交通事故が発生したことがあることから、事故の再発を防ぐため、業者による除排雪が実施されるまでの期間、PTAを主体に地域内にある除雪機などを利用し、危険箇所の排雪をピンポイントで行い、通学路の安全を確保する活動を行いました。また、除雪の活動状況や地域の状況をお知らせする「通学路除雪新聞」の発行も行い、地域住民の安全に対する意識向上につなげることができました。

- 事業実施場所：豊田小学校学区
- 事業実施期間：平成 29 年 12 月 1 日～平成 30 年 3 月 11 日
- 参加者数：延べ 26 人
- 補助金確定額：47,000 円（事業費：53,071 円）



弘前市及び岩木山の魅力を全国に発信することと、市民の健康増進と親睦交流を図ることを目的に、「津軽岩木スカイライン」をゆっくりと自分のペースで歩く健康増進事業を実施しました。当日は悪天候によりゴール後の鳥海山・岩木山への登山はできませんでしたが、これまでの経験もあって、健康への対策等を含めたスムーズな運営ができたほか、多くの参加者から「来年も開催してほしい」との声が聞かれました。

- 事業実施場所：津軽岩木スカイライン
- 事業実施日：平成 29 年 9 月 3 日
- 参加者数：215 人
- 補助金確定額：490,000 円（事業費：860,019 円）



少子化の影響により、学校に部活動やスポーツ少年団もなく、運動をする環境が十分でない地域の小学生のために、地域に出向いて週替わりで様々な運動を行う定期的なスポーツ教室を開催しました。学区や学年にとらわれずに参加することで、子どもたち自身のコミュニケーション能力の向上にもつながり、普段の生活の中でも協力し合える絆やチームワークを深めることもできました。

- 事業実施場所：三和小学校、裾野小学校、自得小学校、高杉小学校
- 事業実施期間：平成 29 年 5 月 19 日～平成 30 年 3 月 2 日
- 参加者数：495 人
- 補助金確定額：500,000 円（事業費：959,953 円）



介護の仕方や病気になった時の対処の仕方、施設のことや薬の飲み方など、日々の生活の中で生じるちょっとした医療・福祉・介護についての悩み事を相談できる場所をつくるため、清水交流センターで暮らしの保健室を開催しました。薬や介護についてのミニ講座や調理実習のほか、介護ロボの体験・健康チェックや軽い体操などを通して、参加した人同士も気軽に相談し合える場を創出することができました。

- 事業実施場所：清水交流センター
- 事業実施期間：平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 17 日
- 参加者数：346 人
- 補助金確定額：111,000 円（事業費：123,742 円）



イキイキ健康クラブスマイル

イキイキ健康クラブスマイル

毎週木曜日に高齢者を対象とした健康体操と、日頃の悩みや生活に役立つ情報交換の場を提供するほか、年間行事として、弘前に関する教養講座や美術鑑賞などを実施しました。定期的に体操することや文化的な活動を行うこと、新しい人と出会いコミュニケーションを楽しむことで、心と体の両面からアプローチし、明るく健康で、生き生きとした生活を送る高齢者を増やすことにつながりました。

- 事業実施場所：TSSビル研修室
- 事業実施期間：平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
- 参加者数：864 人
- 補助金確定額：76,000 円（事業費：585,386 円）



高齢になると、若い時のようには日常生活を送ることが困難になる場合があります、高齢者自身が高齢者の目線でこれらの課題と向き合うため、同じ課題意識を共有する仲間と共に、運動・健康講話・写経などの講座を行いました。生活習慣病や骨格筋の衰退による転倒及び歩行不能の予防など、現在の健康状態の維持に努め、残りの人生を心豊かに過ごすことを目指しました。

- 事業実施場所：ヒロコ健康ホール
- 事業実施期間：平成 29 年 4 月 10 日～平成 30 年 2 月 14 日
- 参加者数：1,273 人
- 補助金確定額：317,000 円（事業費：422,520 円）



弘前市民の森で元気になろう

弘前市民の森の会

市民の心身の健康向上や不安解消を目的に、自然環境に恵まれた「市民の森」で各種健康法（森林療法、園芸療法、芸術療法）の体験を行いました。また、「ストレスと病気」をテーマとした健康セミナー・健康相談を開催し、心身の健康について知ってもらう機会を創出しました。それぞれに参加することで不安が解消され明るくなったかた、生きがいを得ることができたと言っているかたもいました。

- 事業実施場所：弘前市民の森ほか
- 事業実施期間：平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 1 月 17 日
- 参加者数：227 人
- 補助金確定額：192,000 円（事業費：278,360 円）



子どもの運動の機会と、親同士の情報交換の場とし、親子で定期的に遊ぶ機会を提供しました。子どもたちには運動習慣やチャレンジ精神を身に付けてもらうことができ、お母さんのためのボディメンテナンス教室を行うことや、体操後の茶話会で育児への不安や戸惑いに関する相談を保育士や心理士などが聞くようにしたことで、保護者にもリフレッシュしてもらう機会を創出することができました。

- 事業実施場所：青森県武道館、弘前海洋センター、宮川交流センター
- 事業実施期間：平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
- 参加者数：369 人
- 補助金確定額：58,000 円（事業費：250,780 円）



岩木山 YOGA フェスティバル

岩木山 YOGA 実行委員会

誰でもヨガを体験できる場として、市民にとって身近で豊かな自然がある岩木山のふもとでヨガフェスティバルを開催しました。参加者がヨガで身体を動かす楽しさを知り、自分の健康を見つめ直してリフレッシュするきっかけを作っただけでなく、食やエコに関するブースを設置したことで、参加者同士が交流し、地域を知る機会を作ることができました。

- 事業実施場所：岩木山桜林公園
- 事業実施日：平成 29 年 9 月 23 日
- 参加者数：650 人
- 補助金確定額：500,000 円（事業費：877,471 円）



昨年度のサークル参加者が運営側となり、二大地区会館、清原中央会館にて、地区の高齢者を対象に体操や体力測定、さまざまなトレーニングを取り入れたサークル活動を行いました。地域で開催することによって、気軽に参加してもらえるような環境をつくり、各地区での活動を根付かせるよう努めました。『自主トレーニング実施表』を活用し、自宅でも体操を継続してもらうような工夫も行いました。

- 事業実施場所：二大地区会館、清原中央会館
- 事業実施期間：平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 3 月 14 日
- 参加者数：延べ 369 人
- 補助金確定額：69,000 円（事業費：81,317 円）



CAP を子ども達に届けよう 副題「暴力から自分を守る力を子どもに！」

あおり CAP の会 中弘南黒地区

教育現場、行政関係者、保護者、地域の大人に、いじめや暴力防止の1つの方法としてCAPプログラムがあることを知り、いじめ・暴力防止に対する共通認識を持ってもらうための公開講座を実施しました。講座は、幼稚園・保育園の教職員/保護者・地域の大人、中高の教職員/保護者・地域の大人と、それぞれの立場や発達段階に分けて開催し、それぞれの立場での対応の仕方を学んでもらう内容で実施しました。多くが初めてCAPを知るかたでしたが、子どもへの暴力防止に対する考えを広めることができました。

- 事業実施場所：弘前市民会館、弘前市民文化センター
- 事業実施日：平成 29 年 10 月 14 日・15 日、平成 30 年 2 月 17 日・18 日
- 参加者数：延べ 72 人
- 補助金確定額：306,000 円（事業費：428,136 円）



楽しく子育てをするひとつのきっかけとしていただくため、講師を招いて心理学をベースとした考え方（選択理論）や親子の具体的な関わり方を学ぶ楽習会を開催しました。また、月1回のぶち楽習会を開催し、理論の考え方の基本を学んだり、振り返りや実践してみた結果の共有等を行ったりするほか、子育てに奮闘している同じような境遇のパパママ同士の繋がりを育むことによって、心の安定と欲求充足をサポートし、子どもにとってもより良い環境を創造するための機会となりました。

- 事業実施場所：ヒロコ子育て広場ほか
- 事業実施期間：平成 29 年 7 月 22 日～平成 30 年 3 月 3 日
- 参加者数：182 人
- 補助金確定額：406,000 円（事業費：476,970 円）



「アレッズわくわくパーク」事業

HIROSAKI 市民球団プロジェクト 弘前アレッズ

様々な理由で、スポーツをやりたくてもできない子どもたちのために、アレッズわくわくパークを立ち上げ、「遊びを通して野球を楽しもう」をコンセプトとして、スポーツに触れる機会を提供しました。楽しむことはもちろん、来年からスポーツ少年団や部活に加入することを考えてくれた子どももいたり、スポーツを通して子どもたちの協調性や責任感が育成され、社会教育の面でも効果がありました。

- 事業実施場所：第三大成小学校、北小学校、文京小学校、運動公園内広場
- 事業実施期間：平成 29 年 7 月 1 日～3 月 20 日
- 参加者数：延べ 470 人
- 補助金確定額：182,000 円（事業費：267,699 円）



主に高齢者が集まれる居場所づくりとすることを目的に、週3回すこやかセミナーを開催しました。健康増進リーダーと協力して行った健康に関する講座「すこやかセミナー」ほか、生涯学習講座では映画や押し花、物作りなどさまざまな分野に触れる機会を提供しました。また、交流イベントは、終活についての講演会とビデオ上映会を開催しました。思い思いにセミナーを楽しみ、参加者同士の交流も進み、「生き甲斐づくり、友達づくり」の輪が広がりました。

- 事業実施場所：一般社団法人弘前芸術鑑賞会事務局ほか
- 事業実施期間：平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 3 月 23 日
- 参加者数：794 人
- 補助金確定額：500,000 円（事業費：903,606 円）



弘前市の将来を考えるフォーラム テーマ 人口減少時代の地域における権利擁護のしくみ 一般社団法人権利擁護あおい森ねっと

「権利擁護」に関するフォーラムを開催し、全国から先進的な取組をしている団体・専門職の講師を招聘し、基調講演やテーマ別の分科会、グループ討議などを行いました。全国や県で取組をしている団体と、地元の取組を発表し合うことで交流を図るとともに、人口減少問題を抱える弘前市に生かせる取組を探りました。地域を背景に活動できていることや今後の課題を改めて確認することができ、弘前市のPRも行うことができました。

- 事業実施場所：弘前文化センターほか
- 事業実施日：9月2日・3日
- 参加者数：延べ201人
- 補助金確定額：500,000円（事業費：816,660円）



第4回弘前城リレーマラソン冬の陣

特定非営利活動法人 スポネット弘前

積雪や寒さの影響による冬の運動不足解消のため、誰もが楽しみながら気軽に参加できるランニングイベントを開催し、弘前公園内に経験・未経験にあわせた距離でのコースを設け、3時間で何周できるかを競いました。冬場にランニングイベントがほかになく、冬場の運動の場として定着してきたことから、市民が冬期間中も体を動かすモチベーションの維持へとつながりました。

- 事業実施場所：弘前公園
- 事業実施日：平成30年1月28日
- 参加者数：400人
- 補助金確定額：500,000円（事業費：902,490円）



男の介護教室

特定非営利活動法人 津軽広域救急支援機構

近年、男性が介護する側になった時にさまざまな問題に直面し、時には生活が大変になってしまうという状況が増加していることを受けて、男性を対象とした介護教室を開催しました。市内の地域性を把握し、行政や医師の目線とは違った観点からのプログラムで実習や体験を行い、参加者同士の情報交換・相談の場にもつながり、介護や生活の不安を軽減するきっかけとなりました。

- 事業実施場所：中央公民館、駅前南地区都市改造記念会館ほか
- 事業実施期間：平成29年11月1日～平成30年2月23日
- 参加者数：273人
- 補助金確定額：500,000円（事業費：624,513円）



相馬地区の景観の保全につなげるため、総延長 2.1km の遊歩道の花壇へ 500 株のラベンダーを植栽しました。小・中学校の児童・生徒と PTA や各団体をグループ分けして植栽を行ったことにより、上級生や地域の大人との交流が図られました。また、これまで 4 回にわたって整備してきた花壇ですが、今回で全花壇の植栽がおおむね完了し、景観が整いました。

- 事業実施場所：ラベンダーロード（相馬中学校から相馬地区までの遊歩道）
- 事業実施日：平成 29 年 5 月 30 日
- 参加者数：186 人
- 補助金確定額：145,000 円（事業費：161,314 円）



岩木山は美しい山であるのに、不法投棄が後を絶ちません。美化活動として、岩木山麓周辺の不法投棄の回収活動を実施しました。また、エコフォーラムを開催し活動における課題解決への取り組みを考え、写真展などの啓蒙啓発活動にも力を入れ、弘前市民の環境問題に対する意識の向上、エコ活動の浸透も図りました。

- 事業実施場所：岩木山麓及びその周辺
- 事業実施期間：平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 1 月 21 日
- 参加者数：250 人
- 補助金確定額：500,000 円（事業費：508,925 円）



弘前市は、1人あたりのごみ排出量が多く、リサイクル率も低いことから、市民にエコやリサイクルへの関心を高めてもらうための講演会を開催しました。先進地の取り組みを知ってもらうことにより、今後のリサイクルについて考える機会となりました。また、参加者には生ごみリサイクル用の「牛乳パックコンポスト」の母材を提供し、生ごみ減量に取り組んでもらったほか、市民ボランティア交流まつり等ではリサイクル推進のPRを行いました。

- 事業実施場所：イトーヨーカドー弘前店、ヒロコ 3F・4F、中央公民館岩木館
- 事業実施期間：平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 2 月 27 日
- 参加者数：150 人
- 補助金確定額：259,000 円（事業費：303,165 円）



弘前にとって重要な産業である「りんご」をテーマに、加工品や木・枝などを使った工芸品を含めたりんごの魅力をより市民に知ってもらい、生活にりんごを取り入れて身近に感じてもらうことを目指し、親子や三世代で楽しみながら学ぶことができるワークショップや講座を開催しました。さまざまなかたちでりんごに触れてもらうことによって、参加者には、りんごの大切さやりんごを身近に感じてもらうことができました。

- 事業実施場所：百石町展示館、藤田記念館、シードル工房キモリ、弘前総合学習センター
- 事業実施期間：平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
- 参加予定者数：115 人
- 補助金確定額：205,000 円（予定事業費：230,310 円）



「国際都市弘前」への一助とするため、外国人観光客へのおもてなしを目的として観光英語ボランティアセミナー、接客英会話セミナーを実施しました。観光英語ボランティアセミナー後は、実際に4大まつりでのボランティア活動を行い、さくらまつりでは市内中学生も参加しました。接客英会話セミナーでは接客に必要な基本的な英会話や外国人の接客方法、飲食店における英語メニューの作成方法を学びました。

- 事業実施場所：市民参画センター、ヒロコ、弘前公園、土手町、駅前
- 事業実施期間：平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
- 参加者数：172 人
- 補助金確定額：240,000 円（事業費：267,430 円）



「簡単な韓国語で紹介する弘前の観光と接遇」講座と、韓国文化に触れる事業

弘前韓国語勉強会

10月からの青森空港ソウル便の増便や、韓国からの観光客の増加を受けて、祭り時期などに簡単な案内ができるようになるため、優しい韓国語と接遇を勉強する講座や、韓国文化への理解を深めるためのキムチ作り講座などを開設しました。韓国人留学生の協力を得ながら雪燈籠まつりで韓国人旅行客への案内方法を確認するなど、韓国語の学習機会や、韓国文化に触れるきっかけを作ることができました。

- 事業実施場所：ヒロコ、泉野多目的コミュニティ施設、弘前公園
- 事業実施期間：平成 29 年 11 月 22 日～平成 30 年 2 月 11 日
- 参加者数：188 人
- 補助金確定額：149,000 円（事業費：169,860 円）



「弘前は太宰治研究の街である」ことの PR を目的に、太宰治の作品をアレンジして、ドラマリーディング形式で公演を行いました。各定期公演では、作品が書かれた時期ごとに特集を組んだり、季節性のある作品を取り入れたりしたほか、桜桃忌に合わせて行った記念公演では、太宰短編集を代表する不朽の名作をお届けしました。市外や県外からのお客様の来場もあり、PR の効果を感じることができました。

- 事業実施場所：太宰治まなびの家（旧藤田家住宅）
- 事業実施日：平成 29 年 4 月 29 日、6 月 17 日、8 月 5 日、10 月 9 日、12 月 9 日
- 参加者数：394 人
- 補助金確定額：460,000 円（事業費：511,584 円）



文化振興事業「第 1 回 大森勝山遺跡と世界遺産登録を学ぶ会」

弘前縄文の会

「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録の意義及び登録後の活動についてや、登録候補遺跡群の一つである大森勝山遺跡などの価値について再認識してもらい、地域・観光資源としての活用に結びつけていくことを目的に、研修会や体験会を行いました。遺跡めぐりや土器製作体験を通じて縄文文化について知ってもらうことができたほか、三内丸山遺跡縄文工房への出展により世界遺産登録に向けた PR をすることができました。

- 事業実施場所：大森勝山遺跡ほか
- 事業実施期間：平成 29 年 4 月 1 日～10 月 3 日
- 参加者数：514 人
- 補助金確定額：451,000 円（事業費：572,052 円）



小学校体育支援事業「運動大好きプロジェクト」

特定非営利活動法人 スポネット弘前

少子化によるスポーツ少年団の加入数の減少や部活の停滞によって、子どもたちのスポーツ実施率が低下していることから、学校の教員と専門の指導者が連携し、体育の授業を充実させるために実施しました。

子どもたちが楽しみながら体育の授業に打ち込める環境を作ることによって運動を好きになってもらい、運動が習慣として根付き、健康増進や精神面の安定、健全育成にもつながりました。子どもたちからは「できなかったことができるようになって楽しい」、先生方からは「今後の参考になる」などの声がありました。

- 事業実施場所：大成小学校、文京小学校、松原小学校、三大小学校
- 事業実施期間：平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
- 参加者数：約 6,770 人
- 補助金確定額：419,000 円（事業費：466,644 円）



弘前さくらコンサート Vol.3

Rainbow Muse Hirosaki

市民に、質の高い音楽に触れてもらう機会を創出するため、子どもから大人までのピアノ演奏や、ジャズ演奏、ジャズと鍵盤ハーモニカの共演、プロのピアニストによるトークコンサートなどの様々な音楽を交えたコンサートを開催しました。市民の手作りコンサートによって、多くの市民に市民会館の音響の素晴らしさや、2台のピアノ（スタインウェイ）の音と、色々なジャンルの音楽を幅広く楽しんでもらうことができました。

- 事業実施場所：市民会館
- 事業実施日：平成 29 年 4 月 16 日
- 参加者数：600 人
- 補助金確定額：500,000 円（事業費：1,526,334 円）



津軽地方に古くから伝わる「こぎん刺し」文化を発信し、観光客に知ってもらうことや、市民が弘前・津軽への誇りや愛着を醸成することを目的に、さくらまつり期間内に「こぎんフェス」を開催しました。ワークショップやこぎん刺しの歴史や背景がわかるパネル展示、こぎん商品の販売を行い、こぎん刺しへの理解や関心をさらに深めてもらうきっかけづくりの機会になりました。また、製作・配布したこぎんマップを手に市内を回遊するこぎんファンも増えました。

- 事業実施場所：市民文化交流館ホール
- 事業実施期間：平成 29 年 4 月 28 日～30 日
- 参加者数：約 2,300 人
- 補助金確定額：500,000 円（事業費：817,262 円）



第1回公演 ミュージカル「THE SOUND OF MUSIC」

弘前こども・おとなミュージカルクラブ

参加者を広く公募し、9か月間の練習を通して、手話、英語、踊り、津軽弁を駆使したミュージカルの公演を行いました。参加者には、体の動きや声を使った表現方法を学んでもらい、家族で舞台芸術を楽しむきっかけとしてもらうことができました。また、練習の場では挨拶や礼儀作法、助け合いも学ぶことができ、コミュニケーション能力の向上や社会性を育むことにもつながりました。

- 事業実施場所：市民文化交流館ホールほか
- 事業実施日：平成 29 年 12 月 18 日
- 参加者数：202 人
- 補助金確定額：397,000 円（事業費：463,958 円）



「第3回 日本・台湾友好音楽祭」

弘前市民俗芸能保存連合会

市民に台湾月琴の魅力を伝え、台湾文化を身近に感じてもらうこと、伝統音楽を通じて素晴らしい国際交流が育める感動を共有することを目的に、台湾の伝統楽器である月琴と津軽三味線をメインとした音楽祭を開催しました。事前に弘前駅構内やねぷたまつりで演奏をし、事業のPR活動を行いました。当日は、三味線や手踊り、二胡や月琴など、日本、台湾それぞれの伝統芸能の演奏のほか、三味線と月琴のコラボ演奏や、月琴ワークショップを行い、伝統芸能に触れてもらうことができました。



- 事業実施場所：ヒロ口3階 イベントスペース
- 事業実施日：平成29年8月6日
- 参加者数：延べ500人
- 補助金確定額：500,000円（事業費：1,004,430円）



リーディングライブ「卍の城物語」

弘前芸術鑑賞会

津軽為信の津軽統一をテーマにしたドラマリーディングというスタイルの芸術鑑賞の機会を、広く市民に提供するために公演を実施しました。弘前市の成り立ちとなった「弘前城」を切り口に、“津軽の統一” “弘前城の築城” “弘前藩の歴史” “城下町の完成” といったものを、わかりやすく伝えることで、市民の弘前市の歴史に対する理解と郷土愛を深めることにつながりました。

- 事業実施場所：弘前市民会館
- 事業実施日：平成29年8月23日
- 参加者数：829人
- 補助金確定額：500,000円（事業費：2,559,490円）



ワクワク・どきどき?!ひろレクパーク「気軽に体験!楽しい時間・楽しく健康。笑顔の自分を探しに行こう」
・楽しく弘前探検「みんなのウォークラリー大会」・レッツひろレクデー「認知症予防のレクリエーション体験」

特定非営利活動法人 ひろさきレクリエーション協会

レクリエーションを通じて、市民の皆さんの楽しみ作り、健康づくりに寄与するため、2本立ての事業を開催しました。ウォークラリーではコースの中で協力して問題を解いたり、自然に触れるクラフトやゲームをしたりしながら歩き、適度な運動ができました。レッツひろレクデーでは、さまざまなレクリエーションの体験や認知症サポーターのかたの講座を通して、ちょっとした活動が認知症予防につながることを体感してもらうことができました。

- 事業実施場所：弘前公園、総合学習センター
- 事業実施日：平成 29 年 6 月 4 日、10 月 1 日
- 参加者数：198 人
- 補助金確定額：108,000 円（事業費：146,542 円）



イラストでひろさきの街並み再発見!

津軽ひろさきマーチング委員会

弘前に誇りや愛着を持つ人を育み、街の魅力向上へつなげることを目的に、弘前の街並みや建造物のイラストを展示しました。展示期間内には講師を招聘して「弘前・建物を通してみる街の物語ー2人の建築家を中心にー」をテーマとしたセミナーも開催しました。来場者には身近な街について再認識してもらえたほか、堀江佐吉、前川國男といった、弘前に深い関わりのある建築家についての見聞を広げてもらうことができました。

- 事業実施場所：百石町展示館
- 事業実施期間：平成 29 年 6 月 15 日～18 日
- 参加者数：310 人
- 補助金確定額：170,000 円（事業費：209,577 円）



子どもたちに、大人になることや働くことが素晴らしいと思ってもらうために、誰もが知っているメジャーな仕事から地域性の強い仕事まで、社会には様々な仕事があることを知ってもらう機会を創出することを目的に、職業体験と遊びのイベントを開催しました。各おしごとを生業としているプロによる体験コーナーだけでなく、仕事で得た対価を使う場も用意し、子どもたちには社会や経済循環の仕組みを感じ取ってもらうことができました。

- 事業実施場所：弘前学院聖愛中学高等学校
- 事業実施日：平成 29 年 10 月 15 日
- 参加者数：2,000 人
- 補助金確定額：500,000 円（事業費：1,273,825 円）



第 2 回全日本横笛コンクール

津軽笛地域づくり実行委員会

全国トップレベルの笛奏者の演奏を市民が見る機会を作り、6人に1人が笛を吹ける街ひろさきの伝統文化に、今まで以上に興味を持ってもらうため、全国横笛コンクールをコンサート形式で実施しました。全国で唯一の横笛コンクールを弘前で開催し、課題曲をねぶた囃子にすることで、全国の笛奏者がねぶたを知り、ねぶたに参加してもらうなど、地域交流や来弘につなげる一助となりました。

- 事業実施場所：市民文化交流館ホール
- 事業実施日：平成 29 年 9 月 23 日
- 参加者数：200 人
- 補助金確定額：406,000 円（事業費：825,504 円）



菊と紅葉まつり期間中に旧弘前市立図書館を会場として、現代アート作品の展示を行いました。弘前公園周辺を一体とした弘前の新たな魅力として発信していくとともに、アートを媒体として、たくさんの人に足を運んでもらい、旧弘前市立図書館ほか、弘前市の建築物の歴史的・文化的価値を再認識していただく機会となりました。

- 事業実施場所：旧弘前市立図書館
- 事業実施期間：平成 29 年 10 月 20 日～11 月 12 日
- 参加者数：2,216 人
- 補助金確定額：500,000 円（事業費：561,789 円）



中心市街地を会場として、県内で上映されることが少ないミニシアター系の映画を鑑賞する機会として、ヨーロッパ映画を含む洋画特集、弘前出身の若手監督作品特集、話題のドキュメンタリー映画特集として計3回の上映会を開催しました。上映後には、上映作品の監督や、作品のテーマに精通しているかたを招き、シネマトークも行いました。中心市街地において映画上映の機会を設けることで、地域との連携を高め、街中の賑わい創出・経済活動に寄与できました。

- 事業実施場所：弘前中三・スペースアストロ
- 事業実施日：平成 29 年 9 月 16 日、12 月 2 日、平成 30 年 3 月 11 日
- 参加者数：607 人
- 補助金確定額：486,000 円（事業費：1,080,261 円）



ギネス記録も持つ!!津軽の笛が大集合!第5回 津軽笛博覧会

津軽笛地域づくり実行委員会

ねぶたや登山囃子などの津軽の笛や太鼓などのワークショップや、青森県の郷土芸能と津軽笛の共演コンサートを開催しました。全国で唯一の生の笛コンテスト・全日本横笛コンクールの翌日に開催することで、市外からの注目度を上げることにともながり、また津軽に伝わる文化を深く掘り下げて学ぶことで、津軽笛を愛好する人物を育成し、観光客を呼び込むための資源としても発信していくことができました。

- 事業実施場所：藤田記念庭園
- 事業実施日：平成 29 年 9 月 24 日
- 参加者数：700 人
- 補助金確定額：226,000 円（事業費：251,739 円）



焦点—弘前とかけて落語ととく、その団体とは—

弘前男女らくご振興協会

落語を通じて会話術や初対面のかたと打ち解ける技術の向上を図る機会を創出するため、現役の噺家による「落語教室」を開催しました。会話の即興性や遂行能力を鍛えること、コミュニケーションのコツを知ってもらうことで、今後様々な場面や立場での対話等に役立てられることを目指しました。

- 事業実施場所：市民参画センター
- 事業実施日：平成 29 年 10 月 31 日、11 月 28 日、平成 30 年 2 月 27 日、3 月 20 日
- 参加者数：192 人
- 補助金確定額：374,000 円（事業費：431,929 円）



各地で地域おこしや観光コンテンツにポップカルチャーが利用されていることから、多くの人にポップカルチャーに触れてもらう機会を作るため、「音楽・郷土芸能とポップカルチャー」をテーマにしたイベントを開催しました。県内最大規模のパイプオルガンを使った演奏や、津軽笛・津軽三味線奏者とポップカルチャーのコラボといった弘前ならではの演奏を披露したほか、鉄道利用者には入場料の割引を行うことで、弘南鉄道大鰐線の利用促進につなげることができました。

- 事業実施場所：東奥義塾高等学校礼拝堂
- 事業実施日：平成 29 年 11 月 18 日
- 参加者数：130 人
- 補助金確定額：500,000 円（事業費：839,386 円）



弘前駅前公園及び遊歩道の週末の散策者・通行者が減少していることから、駅前遊歩道の活性化と駅前地区の賑わいを取り戻すことを目的に、周辺近隣住民と商業者が集まり、市内外の JAZZ バンドを多数招致したストリートライブ・コンサートを開催しました。「街は歩かなければわからない」をテーマにしたこのイベントをきっかけに、より多くの市民に駅前地区が楽しいエリアであることに気づいてもらうことができました。また、周辺店舗からは大きな集客効果があったとの意見が寄せられ、地域活性化の一助となりました。

- 事業実施場所：弘前駅前公園周辺
- 事業実施日：平成 29 年 7 月 8 日
- 参加者数：20,000 人
- 補助金確定額：500,000 円（事業費：1,005,922 円）



「あのね、知ってる？ここにもフランス」プロジェクト

弘前グローバル・アクション

蓬萊広場でフランス風マルシェを開催し、フランスを中心としたヨーロッパの言語や文化を体験できるワークショップ、フランスに関する食品の試飲試食ブース、手回しオルガンの演奏等を行い、グローバルなつながりづくりや中心市街地の賑わい創出に寄与しました。また、弘前市内でフランスとの関わりがあるお店などを紹介するリーフレットを作製し、まちの人々を通じた弘前の魅力を再発見してもらうきっかけをつくることができました。

- 事業実施場所：蓬萊広場
- 事業実施日：平成 29 年 9 月 30 日
- 参加者数：470 人
- 補助金確定額：407,000 円（事業費：467,490 円）



若者の健康増進や、ボランティアとしての社会参加のきっかけづくりのため、本丸を含む弘前公園で、鬼から逃げながらクイズやミッションをクリアしていく「弘前城 Q&R」というイベントを開催しました。弘前に関係のあるクイズや、弘前の魅力を再発見できるようなミッションを準備することで、弘前への興味・関心を高めることに寄与できました。また、運動習慣の意識付け、地域内外での同世代とのつながりや社会性の教育にも効果が感じられました。

- 事業実施場所：弘前公園
- 事業実施日：平成 29 年 12 月 2 日、3 日
- 参加者数：延べ 423 人
- 補助金確定額：346,000 円（事業費：455,012 円）



愛犬と暮らす地域環境を少しでも良くするため、愛犬と一緒に楽しみながらマナーなどを学ぶことができるDOG FES IWAKI 2017を開催しました。しつけ教室などのワークショップやミニゲームなどを通して愛犬と外で遊ぶためのマナー向上へのステップになったほか、動物愛護センターや三本木農業高等学校の「命の花プロジェクト」のコーナーでは、動物の災害時の非常食や命の大切さについて学んでもらうことができました。

- 事業実施場所：岩木青少年スポーツセンター
- 事業実施日：平成 29 年 10 月 1 日
- 参加者数：1,500 人
- 補助金確定額：500,000 円（事業費：1,220,121 円）



県内外で活躍している多様な個人・団体による活動報告、基調講演、団体同士の交流時間で構成される青森サミットを開催しました。この場での交流を通じ、医療・福祉・介護専門職と、自主団体、地域おこし等の活動をしている団体、そして市民がお互いを認知し、つながることで、弘前の包括的な地域づくりの発展へ寄与できました。

- 事業実施場所：文化ホール（さくら野百貨店弘前店4階）
- 事業実施日：平成29年11月18日
- 参加者数：142人
- 補助金確定額：379,000円（事業費：421,341円）



SL48640号機の保存活動及びSL鉄道教室

特定非営利活動法人 五能線活性化倶楽部

新里駅にて公開されているSL48640号機を地域の大切な資源として保存していくために、改修を行いました。県内外から参加者を集めペンキ塗り等をするほか、電車やSLについて知ってもらうため、子どもを対象とした鉄道教室も開催しました。観光コンテンツや産業遺産として再認識し、電車に興味を持ってもらうことで、保存活動の後継者育成や鉄道と地域をつなぐきっかけづくりの場となりました。

- 事業実施場所：弘南鉄道新里駅、弘前駅、平賀駅
- 事業実施期間：平成29年9月16日～10月29日
- 参加予定者数：264人
- 補助金確定額：500,000円（事業費：560,841円）



雪や寒さを楽しむ機会が少ないことから、弘前に暮らす若者が中心となり、「冬」を盛り上げるイベントを開催しました。当日は猛吹雪にも関わらず、小学生から大人までの世代が集まり、雪を使って「遊ぶ」・津軽ならではの食べ物を「食べる」・津軽の伝統工芸を「作る」といった3つのブースを通して、雪の魅力に気づいてもらう場や、津軽の文化や弘前で活動する人とふれあう機会を作り、地域への愛着を形成する場を創出することができました。

- 事業実施場所：吉野緑地公園
- 事業実施日：平成30年2月12日
- 参加者数：240人
- 補助金確定額：159,000円（事業費：190,594円）





弘前市市民文化スポーツ部市民協働政策課
電話：0172-40-7108
FAX：0172-35-7956（代表）
Eメール：shiminkyoudou@city.hirosaki.lg.jp